

< 影響度ランク >

- A：人間・人間活動ないし生態系に対し、回復が困難となる深刻な影響が認められる、あるいは予測される。
  - B：人間・人間活動ないし生態系に対し、深刻な影響が認められる、あるいは予測される。
  - C：人間・人間活動ないし生態系に対し、明らかな影響が認められる、あるいは予測される。
  - D：人間・人間活動ないし生態系に対し、明らかな影響はあまり認められない、あるいは予測されない。
- 情報不足：現時点では、上記A～Dの影響度ランクを判定する情報が得られていない。

< 駆除の緊急度・可能性ランク >

- A：非常に高い
- B：高い
- C：低い

和名	影響度	駆除の緊急度・可能性	情報
アカゲザル	A	A	二ホンザルとの間で交雑がすでに確認されており、危機的状況にある。
カイウサギ	情報不足	C	浮島における調査は実施されておらず、自然植生等に対する影響は不明である。
マスカラット	情報不足	C	かつては栽培ハスに対する食害が生じていたが、ハス田の消失とともに被害報告はなくなった。調査は実施されておらず、自然植生等に対する影響は不明である。
ドブネズミ	C	B	生活被害に応じて、駆除業者等による駆除が実施されている。
クマネズミ	C	B	生活被害に応じて、駆除業者等による駆除が実施されている。
ハツカネズミ	C	B	生活被害に応じて、駆除業者等による駆除が実施されている。
アライグマ	B	A	北海道や神奈川県から今後、農作物被害や生態系への影響が増大するものと予測される。繁殖・定着が確認されているのは県内3地域であり、定着初期における早急な対策が望まれる。
イヌ	情報不足	B	通報等に応じて、行政による駆除が実施されている。生態系への影響は不明である。
ハクビシン	B	B	すでに全県的に生息し、果樹等の食害が増大している。地域的に生息を抑制するなどの対策が望まれる。
ネコ	C & 情報不足	C	千葉市内で、希少種であるコアジサシのヒナが捕食されている。状況に応じて、地域的な捕獲が必要かもしれない。その他の地域における生態系への影響は不明である。
イノシシ	B	A	近年、県内における農林作物被害金額が1億円を超えており、総合的な対策が必要である。
キョン	C	B	農作物被害が生じているが、今のところ顕著ではない。生態系への影響は、ほとんど分かっていない。
フェレット	情報不足	C	これまで1頭が捕獲されただけであり、繁殖・定着情報は得られていない。
オグロプレーリードッグ	情報不足	C	これまで1頭の生息が確認されただけであり、繁殖・定着情報は得られていない。
ワラビー類	情報不足	C	複数の目撃情報が得られているが、繁殖・定着情報は得られていない。

## 千葉県の外來種ランク付け（齋藤案）

### <生態系への影響>

上位捕食者としての影響、植生などへの影響、在来種との競合・駆逐の可能性、交雑による遺伝的攪乱、在来生物への病気・寄生虫の媒介、などの観点からAからCまで3段階評価

A :

B :

C :

### <人間への影響>

農林水産業などへの影響、人の健康への影響の度合いでAからCまで3段階評価

A :

B :

C :

### <駆除対策の実現性>

A : すぐにでも具体的な駆除対策が提案可能である

B : 駆除対策を提案できるが、実行には困難を伴う

C : すでに広く定着している場合など、具体的な駆除対策が提示できない

和名	生態系への影響	人間への影響	駆除対策の実現性
アメリカシロヒトリ	B	A	C
セイヨウオオマルハナバチ	A	C	A
ヒメカツオブシムシ	C	B	C
パラワンヒラタクワガタ	A	C	B
アオマツムシ	C	C	C

## 千葉県の外來種ランク付け（黒住案）

### < 影響度ランク >

大：  
中：  
小：

### < 駆除の緊急度・可能性ランク >

大：  
中：  
小：

和名	影響度	駆除の緊急度・可能性	総合	具体的な情報
ムラサキイガイ	大	小	小(/中)	排水管つまり/船底付着
サキグロタマツメタ	大	中	中(/大)	有用種のアサリ等の食害
イスパニアマイマイ	小	大	大(/中)	

「具体的な情報」は、外來種ハンドブック等の包括的なものを含める。つまり、必ずしも、個々の種に対する被害等の一次文献を取り上げる必要は無いこととしたい。

これは、1) 千葉県での一次文献の少なさ、2) 文献を探す/データのあることに偏ることを避けたい等による。